

# 学校だより

# 翔 空

No. 21 平成23年10月14日(金)  
郡山市立喜久田中学校長 大堀 昌弘

## 「翔空」の由来 〈校舎のシンボル〉

壁画「空へ」を受け、風光明媚なこの学舎から、希望に燃え限らない空へ、力強く翔んでほしいという願いを込めて、翔空の碑ができた。

### 【今後1ヶ月の日程】

- 10月17日～21日 文化祭までの最後の1週間
- 19日(水) 弁当の日
- 21日(金) 弁当の日
- 22日(土) 翔空祭
- 24日(月) 振替休日
- 28日(金) 3年テスト 弁当の日
- 29日(土) 喜久田地区の文化祭(吹奏楽部の演奏)
- 11月3日 祝日文化の日
- 11月7日～11日 教育相談週間
- 4日(金) 弁当の日
- 8日(火) 生徒交歓会
- 11日(金) 弁当の日
- 16日(水) 音楽学習発表

※翔空祭合唱最優秀学級が参加

### 【英語のことわざ ⑩】

今回の諺は、日本語でもよく口に出てくる言い方です。

"So many men, so many minds."

直訳：人の数だけ多くの心が存在する。

意訳：「十人十色」

読み方：「ソウ メニィ メン ソウ メニィ マインズ」

何となく覚えやすい諺です。韻を踏んでいますので、口ずさむと心地よい感じがします。

子どもの数だけ、性格の違った子どもが存在します。一人一人の個性は大切に育てあげたいと願っています。



「秋サン マとかけて何と解く? その心は、・・・」

### 「毎日の積み重ねの大切さ」

～ノーベル賞を受賞された方々も口をそろえて～  
 今回は、恥ずかしながら私の体験談からお話をさせていただきます。「勝利の陰に涙あり」この言葉は、私がまだ若かりし頃、ある中学校で女子バレー部の監督をしていた時に、地区で有名な監督(この人が指導すれば、必ず地区大会優勝以上の成績を挙げることができると言われた)からいただいた言葉です。このソフトテニスや卓球(と言っても温泉卓球並み)しか指導歴のない私は、指導のノウハウをつかむために、いくつもの学校を訪ね試合をさせていただきましました。その都度、自分が取り入れたいと思った指導法を「盗んで」来しました。毎回、そのような努力をした結果、やっと地区優勝できた日の反省会で、ある先輩の先生から次のように言われました。「大堀くんは、そんな小さな体によく動くね。でもね、指導者はいつも自分で動いていちゃダメなんだ。あんな有名な山本五十六も言っただけで、やってみせて、言っただけで聞かせて、させてみて、最後にほめ言葉を与えてやらないと、いくら指導してもダメ。人間は、ほめられることと快感を感じる動物。優勝できた時には、いっしょにならって喜び、一人一人をていねいにほめてやることだね。そして、勝利の陰には必ずと言ってよいほど、努力や涙は付きものなんだと教えてやることだよ。」

日々の努力の大切さは、スポーツの世界ばかりでありません。勉強についても、毎日コツコツと取り組む姿勢が一番大切で、この常識的なことを人間がやるためには、やはり目標や夢に向かって毎日少しずつでも積み重ねて進むしかありません。オリンピックで金メダルを取った選手も、ノーベル賞を受賞した学者も、みんな口をそろえて「努力」と「継続」の大切さを訴えています。私も子どもたちにも「勝利の陰に涙あり」これは、決して1週間、歌声も以前と比べると生徒も準備が大忙しです。最近、夕暮れどきの生徒も通いづらくなっています。早く通いづらくなると、心がゆがんでいきます。どうか、日々の努力を大切にしてください。

(お知らせ) 10月22日[土]の翔空祭における模擬店に関して1点お知らせします。ここ1ヶ月にわたる放射線量の測定の結果、例年、お昼を外で食べさせていましたが、該当場所が未だ測定値が1.0μsvを超える場所があるため、生徒は教室、保護者等については公民館体育館にてとらせることにしました。なお、調理につきましても、比較的放射線量の低い調理室・被服室前の犬走り上や生徒昇降口の空きスペースを使用する予定です。